

5 おかやま未来の匠奨励賞(若年技能者等産業労働部長奨励賞) 推薦要領

- 第1 この要領は、産業労働部関係功労者表彰要綱の規定に基づき、おかやま未来の匠奨励賞(若年技能者等産業労働部長奨励賞)(以下「奨励賞」という。)授与のため必要な基準及び手続き等を定め、自ら技能の研鑽に励み、一定の技能を有する岡山県内の若年技能者等を産業労働部長が奨励することにより、本県産業の発展を支える優秀な人材の育成を図るとともに、広く一般に技能尊重の機運を醸成し、技能者の地位の向上を図ることを目的とする。
- 第2 被推薦者は、奨励賞を授与される年度の4月1日現在で35歳未満の者(学生・生徒を含む。)で、一定の技能を有するとともに後進の育成に努めるなど、若い世代にとって技能向上の模範であり、次の各号のいずれかに該当する者とする。
- 1 一定規模の参加者がある全国大会(技能の優劣を争うものに限る。以下「全国大会」という。)において入賞している者
 - 2 全国大会へ出場するための地方予選大会(県大会以上のものに限る。)があるものについては、同大会で1位となった者
 - 3 その他、1又は2に準ずるものとして特に認められる者
- 第3 岡山県内の職業能力開発協会、経済団体、産業団体、高等学校等の代表者は、前項に該当する者について、次の各号の関係書類を添えて推薦することができるものとする。
- 1 提出書類
 - ① 推薦書 (様式1)
 - ② 調書 (様式2)
 - ③ 履歴書 (様式3)
 - ④ その他 全国大会での入賞実績や大会の内容・規模等を証明する資料
 - 2 推薦期間
7月1日から8月31日までの間とする。
- 第4 受賞者の決定に際しては、これを公正かつ適切に行うための専門の知識又は経験を有する者から意見を聞くことができるものとする。
- 第5 奨励は、産業労働部長名による賞状を授与して行う。

推 薦 書

現住所

ふりがな
氏名

生年月日

(歳)

上記の者は、平成〇〇年〇〇会社〇〇工場に〇〇工として入社し、以降〇〇〇〇の製造の業務に従事し、〇〇大会において〇〇位に入賞するなど、その技能は極めて高く、また、後輩の指導に積極的に取り組むなど、若年技能者の技能向上の模範となっている。

1 〇〇〇の技能

1 受賞歴 平成〇〇年〇月 〇〇大会 (参加者〇〇人)
 〇〇部門 〇〇位入賞

(推薦理由書作成要領)

- 1 候補者の技能、受賞歴については、上記記入例により本賞に相当するものについて具体的、詳細に記入すること。
- 2 記載する事項は、一事項ごとに別項として具体的に記述すること。
- 3 A4用紙に横書により一枚程度にまとめて明瞭かつ的確に記入すること。

(様式2)

調 書

<small>ふりがな</small> 氏名 (旧氏名)		職 歴 (在職者のみ)		在職期間	在職年月数	重複を除く 年月数
生年月日		昭和 平成	年 月 日 (歳)	年 月 日	年 月) 年 月
最終学歴 (在学者を除く)						
現住所		〒 市 町 村 TEL ()		団体役職歴		
在籍する 事業所 又は学校	名 称) 年 月
	所在地	〒 市 町 村 TEL ()				
受 賞 歴				免許・資格等名	取得年月日	
若 年 技 能 者 等 の 概 要						
技能の概要				模範となる行動等		
推薦団体・学校		(所在地) TEL () (団体・学校名)				
		(調書作成者)				

(調書記載要領)

- 1 氏名欄には、戸籍に記載されている字画で氏名を記入し、ふりがなを付けること。
なお、改氏名のある者については、旧氏名を氏名の下に()で記入すること。
- 2 生年月日の欄には戸籍に記載されている生年月日を記入し、()内に表彰の行われる年度の11月1日現在の満年齢を記入すること。
- 3 職歴欄には、次の要領により記入すること。
 - (1) 職種欄には、職歴について就業先事業所の名称、職場における職務内容、地位、役職等の異なるごとに記入すること。
なお、団体等における役職歴等のうち、本表彰と関連がないものは、記入しないこと。
 - (2) 在職期間欄には、その職の始期と終期を記入すること。
なお、現職については表彰の行われる年度の11月1日をもって終期とすること。
 - (3) 在職年月数欄は、半月単位で計算した在職年月数を記入すること。月の途中で就職等又は離職等した場合の計算は、月の15日以前に就職等したものは1日に、16日以降に就職等したものは16日に就職等したものとみなし、15日以前に離職等したものは15日に、16日以降に離職等したものは末日に離職等したものとみなし、半月単位に計算すること。
 - (4) 重複を除く年月数欄には、表彰にかかる技能職種に従事していた期間の合計を記入すること。ただし、同一の時期に2以上の職にあったとみなした期間を一方の職から除外すること。
- 4 受賞歴欄には、既有の表彰 (技能に関連して受けたもののみ) 別に受賞年月日及び事由を記入すること。
- 5 免許・資格等欄には、免許、資格、特許、実用新案等を有する者についてはその種類を、技能検定に合格している者については技能士の名称(○級○○技能士)を記入すること。
- 6 若年技能者等の概要欄には、次の要領により記入すること。
 - (1) 技能の概要欄には、関連する他の資料(要領第3の4 その他)にあわせて、その者の有する技能の概要及び全国大会入賞や考案・改善等の功績の概要等、他の若年技能者等との比較等の観点から優越した技能を有するものであることが判定できるよう、特に技能の質的な面を中心に記入すること。
 - (2) 模範となる行動等欄には、その者が後進の指導育成にあたった方法、対象、範囲等について具体的に記入すること。

(様式3)

履 歴 書

写真のり付け

現住所

ふりがな

氏名

生年月日

(歳)

学 歴

年 月 日

○ ○ ○ ○

学校卒業

職 歴

自 年 月 日

至 年 月 日

賞 罰

年 月 日

以上

(履歴書作成要領)

- 1 氏名欄には、戸籍に記載されている字画で氏名を記入し、ふりがなを付けること。
なお、改氏名のある者については、旧氏名を氏名の下に()で記入すること。
- 2 生年月日の欄には戸籍に記載されている生年月日を記入し、()内に表彰の行われる年度の11月1日現在の満年齢を記入すること。
- 3 学歴は最終学歴について記入すること。
- 4 職歴は、すべてについて、それぞれの始期と終期を明確にすること。
- 5 賞罰欄の記載については特に表彰歴について表彰者及び表彰理由を明らかに記入すること。
- 6 A4用紙に横書により明瞭かつ的確に記入すること。
- 7 写真は名刺判(5cm×7.5cm)上半身、正面、脱帽で、最近(おおむね6カ月以内)撮影したものとし、所定の位置(写真のり付け)に貼付することとするが、離脱の場合等を考慮し、裏面に氏名を記入すること。